

浅川の土砂災害対策に関する資料

浅川流域協議会からの提言

1. 流木、巨石止め及び土石流対策に、南浅川合流点にスリット堰堤の設置が必要である。
2. こまめな堆積土砂の浚渫と、南浅川合流点付近の既設堰堤等の満砂状態をリフレッシュし、土砂ポケットを確保すべきである。
3. 土砂流出対策として、南浅川合流点付近や上流適地に砂防堰堤や沈砂池を設置し、そこで重点的に、貯まった土砂を適宜浚渫・搬出を行ってはどうか。
4. 浅川の中流から下流で特に土砂が貯まりやすい場所に、土砂貯め施設を河川改修工事と併せて設置し、そこで重点的に排除すれば、砂防施設等は造らなくてもよい。
5. 下流での土砂貯め施設も必要だが、更に上流での砂防施設も設置が必要である。
6. 堰堤や沈砂池等コンクリート構造物は寿命があるため、将来を考え、築造すべきでない。
7. 浅川は堆砂が甚だしいため、河川環境に配慮しながら計画的な浚渫を一層強化すべきである。また、大洪水で瞬時に堆積する土砂の排除に予備的費用を確保しておく必要がある。

